

# 令和元年度就労準備支援事業従事者養成研修

2019年10月7日14時20分～15時05分

## 講義②これまでの取り組みと実績

～自立支援15年を顧みて～

(一社) 釧路社会的企業創造協議会副代表

釧路市・釧路管内生活相談支援センター長

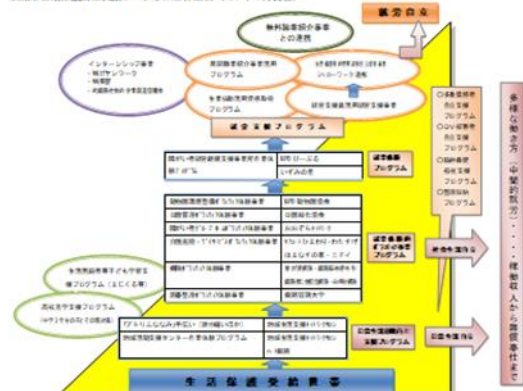
櫛部 武俊

# 自立助長から自立支援へ

- ◆1950年生活保護法（2014改正生活保護法）以来『自立の助長』を目的としてきた。（適正実施）
- ◆2004年社会保障審議会福祉部会『生活保護制度の在り方に関する専門委員会』⇒経済的自立（就労による自立）・健康の回復、生活の自己管理による日常生活の自立、社会との繋がり回復と維持による社会生活の自立 という三つの自立論と自立支援プログラム 自立助長論から自立支援への転換
- ◆2004年（平成16年）から取り組んできた釧路モデル～自立支援の到達点  
★中間的就労と社会的居場所づくり★かけがえのない私という実存（自己肯定感）

現在の自立支援プログラムとその実績

釧路市生活保護自立支援プログラム全体概況（2014年4月現在）



# 中間的就労と生きる場づくり

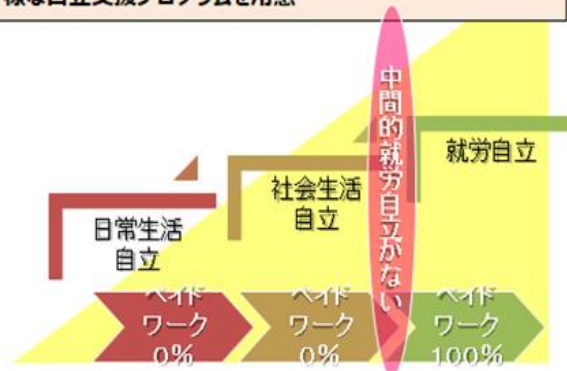
地域で支えられていた人が  
支える人に回る仕組みを構築

生活困窮者支援を通じた地域づくり

- ・ 漁業は、釧路市・厚岸町の基幹産業であるが、その下支えをしている漁網業界の現場（整網作業）で高齢化が進み、担い手不足により業界の存続が危惧されている。
- ・ 整網作業は、機械化するのが困難であり、今後も手作業に頼るしかないのが現状である。
- ・ 新たな担い手が生まれえない大きな要因は、作業の習熟度が上がらないと、一定の収入が得られないことにある。
- ・ そこで、本協議会の取り組む中間的就労自立の場として、整網作業に取り組み、同時に問題解決を図るのが狙いである。

## 釧路モデルの分析

ただちに就労困難、あるいはケースワークだけでは就労困難な生活保護受給者を対象にご本人の「ステージ」に応じた多様な自立支援プログラムを用意



## 漁網の仕立て作業・・・支え合う通い場





お金



仕事



生活・健康

あなたの  
 悩みが必要です。  
 助けを求めるその手は、  
 誰かを支える手にもなります。



はたらく場所を探す人。  
 はたらく手が足りない人。

安全な暮らしを送れない人。  
 安全な暮らしを分かち合いたい人。

みんなが抱えている  
 悩みや不安を減らすために、  
 あなたの相談を、  
 お待ちしています。



悩みや  
 不安の解消へ

身近な人に  
 相談しづらい様々な  
 悩み・不安を  
 「暮らしごと」へ  
 ご相談ください

「暮らしごと」は不安を  
 解決するための伴走者です。

共に考え専門家にも相談

暮らしごと

専門家  
 地域パートナー

解決に向けて  
 寄り添い、考えます

釧路市・釧路管内生活相談支援センター 暮らしごと

【委託者】釧路市・北海道 【受託者】一般社団法人釧路社会的企業創造協議会  
 〒085-0015 北海道釧路市北大通12丁目1-14 ビケンワークビル1階

【開設時間】 平日9:00～18:00

【ホームページ】 <http://www.sbcc946.com/> 【E-mail】 [sbcc@kuh.biglobe.ne.jp](mailto:sbcc@kuh.biglobe.ne.jp)

あなたとの約束を守ります。(個人情報や秘密、プライバシーなど)

ご相談・支援は全て無料 TEL.0154-65-1250

釧路駅 ●バスターミナル

- ホテルクラウンパレス釧路
- コンフォートホテル様

北大通



「暮らしごと」はビケンワークビルの1階にあります。水色のビルが目印です。

# 生活困窮者自立支援と相談、就労準備支援

## 漁網の整網作業



## 見学・体験



## 就労支援部会



## 釧路市指定ごみ袋の封入作業



### くしろ就労支援実行委員会 企業勉強会

釧路の未来のために  
どんな方でも「はたらける」マチを  
私たちができることを  
もちよって実現しよう

障がいや年齢の有無に関わらず、社会的障がいを持たない方々の特性や困難について理解を深め、企業の受入体制や業務分  
解等についても知ることで、参加企業の現状にあった具体的な方法を考えるきっかけをつくる機会です。  
働く人・受入企業、それぞれの現状や使える制度について説明をして、理解を深める、具体的な事例や個別相談の時間をと  
ることで、実際にどのように進めていけるのかを考える勉強会です。

会場・日時

2019年10月17日(木) 13:30~15:30  
釧路市交流プラザさいわい 2階208号室  
(釧路市幸町9丁目1番地)

参加無料  
定員30名

#### 参加対象

- 障がい者雇用を検討している
- 受入を希望しているが現状困難を感じている
- 人材不足を解消する方法を模索している
- 人材の活用について知りたい

と、お考えの企業および現場担当者

#### くしろ就労支援実行委員会とは?

障がい者雇用促進法に基づき、障がい者雇用の促進を図る  
ことにより、障がい者雇用の促進を図る。また、障がい者  
雇用の促進を図る。また、障がい者雇用の促進を図る。また、障  
がい者雇用の促進を図る。また、障がい者雇用の促進を図る。  
また、障がい者雇用の促進を図る。また、障がい者雇用の促進  
を図る。また、障がい者雇用の促進を図る。また、障がい者  
雇用の促進を図る。また、障がい者雇用の促進を図る。また、  
障がい者雇用の促進を図る。また、障がい者雇用の促進を図る。

#### スケジュール

13:10~	受付
13:30~13:40	開会・スケジュール説明
13:40~14:10	障がい者雇用の事例・事例・受入事例
14:10~14:40	社会的障がい者の現状・事例・受入事例
14:40~15:20	質疑応答、質疑応答時間、個別相談時間
15:20~15:30	まとめ

#### お申し込み

参加ご希望の方はオンライン(QRコード)または  
電話、FAXにてお申し込みください。

お申し込み開始日  
10月10日(木)



お申し込みは10月10日(木)10時より受付いたします。  
お申し込みは先着順です。

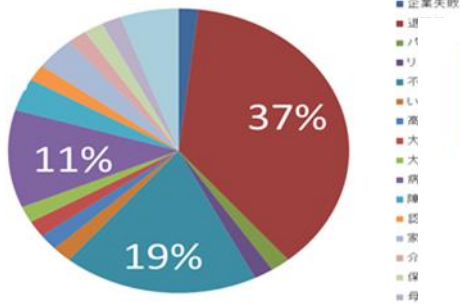
お申し込み期間(10/10-10/30)も受付して頂きます。  
ご参加の方にはメールでご案内いたします。

真 栗 先 一般社団法人釧路社会的企業創造協議会 / 生活相談支援センターくらごと (担当:相原・相原)  
お 問 合 わ せ 釧路市北大道 12-1-14 ビンクワークビル1階 TEL/FAX 0154-25-0288

# 就職氷河期問題・ひきこもりと就労準備

## 労働・教育（学校）・疾病と孤立

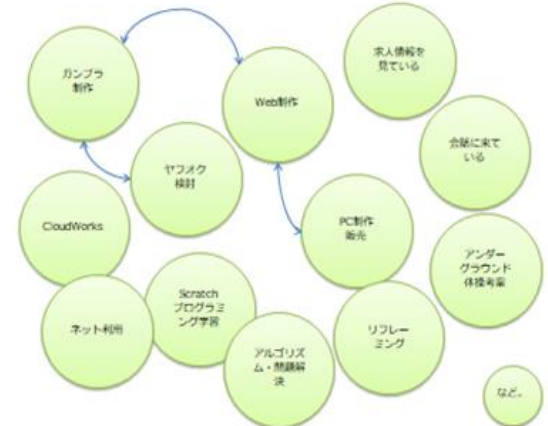
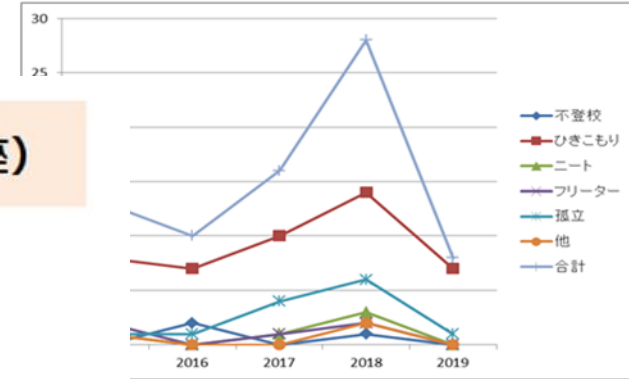
不登校・ひきこもり・ニートのきっかけ内訳



## なんでもやってみるラボ（通称PC講座）



## 地域のホットスポット（釧路市）



# 生活困窮者の自立と尊厳に通底する地域づくり (2018年就労訓練事業ガイドライン)

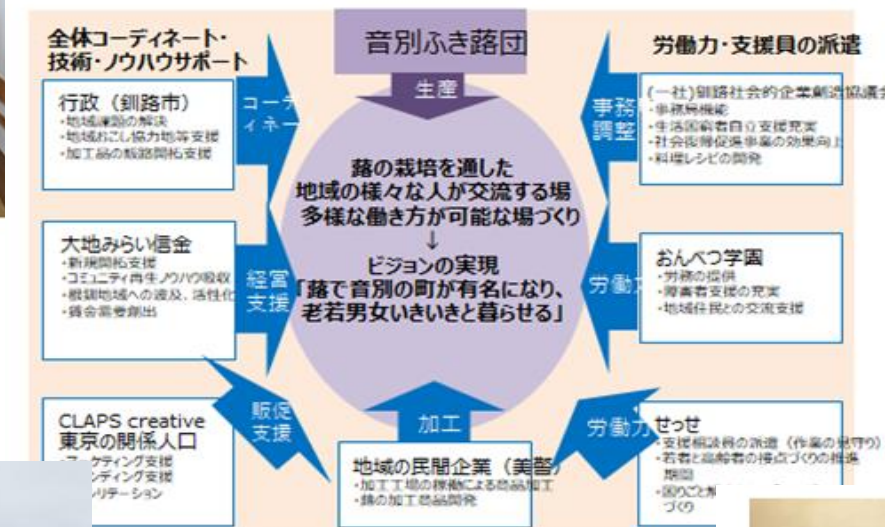
みはらかがやき食堂



お寺食堂



## 音別ふき落回と地域の連携 音別部会



資料



# 平成30年度厚生労働白書

平成30年版

## 厚生労働白書

(平成29年度厚生労働行政年次報告)

— 障害や病気など向き合い、全ての人が活躍できる社会に —

〔概要〕

厚生労働省

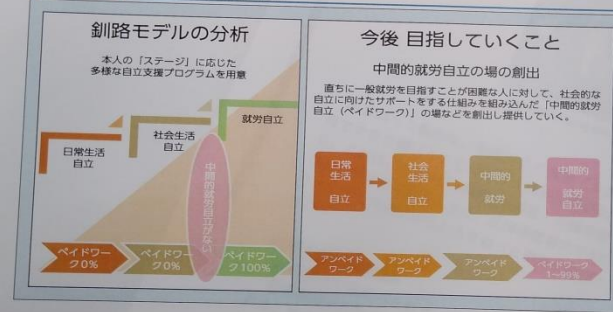
### 第1部 障害や病気など向き合い、全ての人が活躍できる社会に

#### 2 中間的就労自立の考え方

釧路社会的企業創造協議会（以下「協議会」という）は、北海道釧路総合振興局と釧路市から委託を受けて自立相談支援事業や就労準備支援事業などを実施する一般社団法人である。協議会は、生活保護受給者だけでなく生活困窮者を含む雇用創出を目的として、2012（平成24）年に設立された。

協議会は、発足時に、これまでの「釧路モデル」の検証を行った。検証では、地場産業の停滞により地域の求人情報が少なく、生活保護受給者や生活困窮者の一般就労が困難である状況を踏まえ、資金の多寡だけで見ず、地域社会のニーズを掘り起こしていくことが重要とされた。そして、自立支援プログラムにより、「社会生活自立（0%のペイドワーク）」から「就労自立（100%のペイドワーク）」にすぐ移行するのは難しいことから、「就労自立」に向けた「中間的就労自立（1～99%のペイドワーク）」の場を、地域のニーズに沿いながら提供することが必要とされた（図表3-1-9）。

図表3-1-9 中間的就労自立の場の創出



#### 3 中間的就労自立の取組み

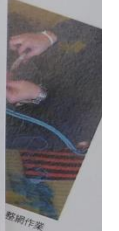
中間的就労自立の取組みとしては、漁網の整網作業や、健康づくり運動「ふまねっと」に使用するネットの製作などがある。

漁網の整網は、釧路管内の基幹産業たる水産業からの需要があり、漁網業界が高齢化による担い手不足であったことから、生活困窮者と漁網業界双方が抱える課題を同時に解決するために行うこととした。

作業内容については、指示書に則り、網にアバ棚（浮き付ロープ）と下棚（重りとなる鉛入りのロープ）をアバリという専用の道具を使用して括り付ける仕立て作業が中心である。新規の参加者は、まずは参加者の中でリーダー的な役目を果たす「ボランティアリーダー」や、作業に慣れている参加者から作業工程を教わり、練習用の網で訓練する。そし

第3章 障害や病気をもつ者などを受け入れる環境の取組み事例

から、本書の作  
なく出来るかと  
ら信頼を得るま



される50センチ  
網)を製造する  
動)が展開さ  
申し出たことか  
一定の需要が見

とから、開始さ  
して協議会が  
作業の切り  
手すり・ド

# 「地域共生社会実現のための中間的就労のすすめ」の概要

- 平成30年度社会福祉推進事業「地域共生社会の実現に資する中間的就労の多面的機能とあり方に関する調査研究事業」（一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会）により作成。
- 「中間的就労」がもつ、「つながりづくり」「生きがいくくり」「地域おこし」などの多面的機能に焦点をあてて研究。
  - ⇒ 生活困窮者対策やひきこもり対策からだけでなく、
    - ・ 高齢者の社会参加の促進と介護予防の観点
    - ・ 就労の場の仲間同士のつながりが、地域コミュニティ醸成へと面的に広がり、住民がお互いの生活状況を気かけたり、安否を見守ったり、生活上の困りごとが生じたときには支え合ったりできる関係の構築や、住民主体の生活支援活動へと発展していく可能性などについて検討。
- 全国の多様な先進的実践事例を取りまとめ、地域社会の実現に資する「中間的就労」に取り組むためのモデルとそのポイントについて整理。
- 掲載先（釧路社会的企業創造協議会ホームページ内）：<http://www.sbcc946.com/report/pdf/h30.pdf>



## 【掲載内容】

### 第1章 中間的就労とは何か

- 1) 中間的就労という発想はどこから生まれたか
- 2) 生活困窮者自立支援制度の誕生
- 3) 人と人をつなぐ多面的な中間的就労の可能性と地域連関
- 4) 行政、自治体の役割
- 5) 住民自身の取り組みと中間支援・マネジメントの重要性

### 第2章 中間的就労の現状と課題

- 1) 認定就労訓練事業＝中間的就労ではありません 多種多様な中間的就労
- 2) 中間的就労の分類：一般就労を目指さない場合があります
- 3) 認定就労訓練事業が悩みのタネとなる原因と対応策
- 4) 財政的なインセンティブが用意されていないことへの対応策

### 中間的就労をすすめるためのポイント

1. 中間的就労には、就労訓練目的から地域活性化まであります
2. 社会福祉法人等の社会貢献としての中間的就労もあります
3. 就労準備支援に中間的就労を加え、多彩な支援メニューを提供するところもあります
4. 複数課題を抱えた相談者には、就労支援だけでなく生活支援との連携が大切です
5. 生活困窮者の中間的就労支援から柔軟な働き方が生まれます
6. 就労支援が地域活性化や地方創生につながっていくこともあります
7. 地域づくりを進めるなかで、中間的就労も多面的に展開されていきます

### 第3章 中間的就労・参考事例

自治体名	特 色	取 組 内 容
三重県 鳥羽市	福祉と観光の連携で仕事づくり&まちづくり	主要産業の観光業での人手不足や、住み込みで働く人が退職と同時に生活困窮に陥る事態が地域課題となっていたことから、 <u>市内の観光・労政・人口対策部門との横断的な連携により「とびとびと活躍プロジェクト」立ち上げ</u> 。観光課が中心となり、 <u>宿泊業の業務分解による求人カタログ「プチ勤務おしごとカタログ」を作成</u> 。短時間からでもその人のライフスタイルに合った働き方を提供。
大阪府 八尾市	社会福祉法人が合同で始めた介護現場でのユニバーサル就労	八尾市特別養護老人ホーム施設長会に加入している施設等が認定就労訓練事業所となり、 <u>中間的就労担当者連絡会を組織</u> 。 <u>連絡会が自立相談支援機関からの受入相談を受け、施設とのマッチングを担う</u> 。受入施設では、利用者の現状や希望に応じ、 <u>施設内での業務分解を行ったり、新しい業務を作り出す等、きめ細かな支援を実施している</u> 。
兵庫県 伊丹市	優先発注制度はじめさまざまな仕事を確保し、支援に活かす	<u>認定就労訓練事業所への優先発注制度を活用し、中心市街地や公園の清掃、建物管理、害獣駆除などの業務を市から受託</u> 。ある程度の仕事を常時抱えているため、 <u>すぐに働くことが可能な場合は、相談当日から職場見学、就労契約を結び、翌日から就労訓練で日払い仕事を提供するといったスピード感ある支援が可能となる</u> 。
北海道 釧路市	フキ畑が「多面的機能」をもつ地域資源に	人口減と高齢化が進む地域で、 <u>本業(酪農など)の第一線から退いた高齢者や生きづらさを抱えた若者たちを活用し、地域の特産品のフキによる地域おこしに取り組む</u> 。休止状態だった地元の山菜加工施設を復活させたり、イベントの実施等により、 <u>就労支援、生きがいづくり、健康づくり、コミュニティ形成という多面的な効果が生まれている</u> 。
北海道 岩見沢市・月形町	生活保護と生活困窮者の就労支援を一緒に提供	生活困窮者の自立相談・就労準備支援を行っている事業所で、 <u>生活保護受給者の就労支援や無料職業紹介も行う</u> 。多彩な就労準備支援メニューを準備し、居場所的な利用から就労後の定着まで支援。 <u>就労訓練として地元の商店街の清掃活動に参加する、繁忙期の農家の収穫を担う、地域のイベントの企画・運営に関わる等、地域の産業や活動と連携した就労支援を実施</u> 。
広島県 安芸高田市	高齢化率46.8%・504人の集落で、孤立させない地域経営	<u>全戸加入の住民組織による行政に頼らないまちづくりを実施</u> 。孤立防止と地域活性を目的に交流拠点(宿泊施設・レストラン)を開設、 <u>協同組合を立ち上げて特産の柚子を使った六次化商品を開発する等、住民主導で地域課題解決と雇用創出のための取組を続けている</u> 。活動を通して人々がつながることで、 <u>孤立を防止して暮らしやすい地域を目指す</u> 。
高知県 佐川町	「役割づくり」の地域福祉	地域福祉の向上や集落活性化を目的とする県独自の小規模拠点施設を、 <u>集いの場(サロン)や交流イベントの場として活用</u> 。子どもから若者、高齢者まで幅広い住民が利用者・運営スタッフ・ボランティアとして関わり、 <u>それぞれが得意なこと・できることを活かして地域社会での役割を果たし、感謝や報酬を得られるよう取り組む</u> 。
秋田県 藤里町	ひきこもり支援から、生涯現役のしごとでまちづくりに挑戦	地域の農家や事業者等から依頼を受け、 <u>登録したひきこもり者や離職者、障害者等(登録生)が必要に応じて職員の支援を受けながら仕事を行い工賃を受け取る仕組みを実施</u> 。 <u>新しい特産品の製造を登録生が担い多額の売り上げを記録した</u> 。現在は年齢や障害の有無にかかわらず町民すべてを対象として発展し、 <u>生涯現役のまちづくりを目指す</u> 。